

Contents

- 特集 城内先輩 早大大学院入学 P.1
- ・国際大会出場選手のお知らせ P.1
- ・平成24年度総会報告 P.2
- ・予餞会を開催 P.3
- ・吉野先輩小野梓記念賞(スポーツ賞)受賞 P.3
- ・昭和42年~46年卒OBの集い P.3
- 特集 故酒井延幸先輩を偲ぶ P.4
- ・リレー寄稿『あの先輩は今』 P.4
- ・新入部員紹介 P.5-6
- ・競技会成績 全日本学生個人・学生選抜 P.6-7
- ・ウエイトリフティング部最前線 P.8
- ・伊藤宏之先輩「旭日小綬章」受章 P.8



特集 城内先輩 早大大学院入学

女子+75kg級ジャークの日本記録保持者で、2005年、2006年のインカレ2連覇に貢献された城内史子先輩(H19)が、早稲田大学スポーツ科学研究科修士課程に進学されました。

研究のために練習場にも足を運んでいただけるとのことですので、今後はぜひ、全日本のトップレベルで活躍された経験を後輩たちに伝えていただきたいと思います。

城内先輩から皆様へ

この度、4月より早稲田大学スポーツ科学修士課程に入学しましたH19卒の城内史子です。H19に社会科学部を卒業し、学校法人金沢学院で職員をしながら北京、ロンドンとオリンピック出場を目指しました。しかし、オリンピック出場という目標は達成することが出来ず、昨年の6月に12年間の競技生活を終わりました。現役中は、将来のことなどゆっくり考える時間ありませんでしたが、引退後に現監督である岡田先生に声をかけていただいたこと、そして私自身が取り組んできたことを次世代の選手に伝えていきたいと考え、進学を決意いたしました。今後は、大学院でコーチングについて学び、幅広い世代にウエイトリフティングの魅力伝えて行くことが目標です。また、お世話になった早稲田大学にこのような形で戻って来られたので、部の飛躍にも何かお手伝い出来たらと考えております。これからまた、宜しくお願い致します。

城内史子(平成19年卒)



写真は2006年全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権

国際大会選手派遣のお知らせ

早稲田大学ウエイトリフティング部から4名が、国際大会に日本代表選手として派遣されることになりました。

- ◆2013年インターナショナルフレンドシップトーナメント(日韓中大会)
- ◇期日 6月21日(金)~23日(日)
- ◇開催地 中華人民共和国
- ◇出場選手

☆女子63kg級
・高岸冴佳(社会科学部3年)

- ◆アジアジュニア選手権大会
- ◇期日 7月1日(月)~8日(月)
- ◇開催地 キルギス共和国
- ◇出場選手
- ☆69kg級
・生頼佑馬(スポーツ科学部2年)
- ☆77kg級
・梶田大和(スポーツ科学部2年)

- ◆第27回ユニバーシアード競技大会
- ◇期日 7月7日(日)~12日(金)
- ◇開催地 ロシア連邦
タタールスタン共和国 カザン
- ◇出場選手

☆女子69kg級
・松本潮霞(社会科学部4年)

平成24年度総会報告

3月20日、染谷記念国際会館において、平成24年度総会が開催されました。短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく活発な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

林 毅(S34) 田口 薫(S42) 中田正剛(S43) 岡田正三(S45) 鵜飼信一(S46)
正木隆至(S48) 志田典明(S51) 野中弘一(H01) 吉岡史生(H13) 蔵山潤哉(H21)

【議事要旨】 ※会計資料は稲門ウェイトリフティングクラブWebサイトをご覧ください。

【議題1】平成24年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成24年度の活動及び収支決算、並びに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。

*「会費」は、計184万6千円の納入がありました。先輩皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。

*「卒部生記念品代/特別積立金(60周年記念事業等)借入金返済」は、4万円を返済(完済)する計画でしたが、財政状況から2万円の返済としました。

*「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合会場に来場され、サポート/観戦いただいた会員(早慶戦14名、インカレ3日間延べ32名)に対し、弁当と飲み物を提供しました。

*「地域会員懇親会援助費」は、昨年10月に「ホームカミングデーに伴う対象年次先輩との懇親会」を開催し、参加者への記念品代を支出しました。

*「通信費・消耗品費」は、年3回のクラブニュース発行のため支出しました。

電子メール配信の参加者が80余名に達しました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。

*「会議費」は、2月に部の新幹部との対話会を開催し、補助を支出しました。

*「予備費」にて、法大創部60周年記念誌広告代/祝賀会参加費を支出しました。

また、昭和33年卒・酒井延幸先輩、昭和47年卒・前川広道先輩のご逝去に伴い、生花をお供えました。

*特別会計「特別積立金(部遠征補助等)」より世界ジュニア選手権(グアテマラ)、日韓中フレンドシップ大会(韓国)、世界大学選手権への代表選手派遣に伴い遠征補助計12万円を支出し、相当分を一般会計から積み立てました。

*特別会計「特別積立金(60周年記念事業等)」は、予算どおり12万円を積み立てました。

【議題2】卒部生記念品(木工バーベル)の新規制作に関する件

平成21年にオーダーメイドの木工バーベル(ミニチュア)を30個制作しましたが、残数不足のため新たに36個制作することとしました。作品(嵯峨英二氏作)について紹介の上、代金14万4千円の一括支払いに伴う特別会計(60周年記念事業等)からの借入れと次年度以降返済について提案し、満場一致で承認されました。

【議題3】東京国体に伴うオール早稲田懇親会(仮称)に関する件

東京国体会期中(10月上旬)に、参加選手/役員を中心にOB/OGと部員が一堂に会し相互親睦を図る機会を設けること、および一般会計より5万円を補助することについて提案し、満場一致で承認されました。

【議題4】ホームカミングデー対象年次先輩との懇親会に関する件

ホームカミングデー対象年次先輩との懇親会については、平成15年より続けてまいりましたが、近年の出席状況より開催周期を見直すこととしました。「同世代の先輩/後輩と一緒に集まれる機会とした方がよい」との声も踏まえ、今後は複数年に1回の開催とします。なお、今年度は開催を見送ること、および次回の開催について役員に一任していただくことを確認しました。

【議題5】平成25年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成25年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

*「会費」は、184万8千円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼び掛けを継続して行います。

*新規に制作した卒部生記念品の代金支払いのため、特別積立金(60周年記念事業等)から14万円を借ります。返済は平成26年度以降に計画します。※今年度の返済2万円は平成21年度の借入れ分です。

*インカレ・早慶戦へのOB/OG参加促進のため、今年度もサポート/観戦会員に対し飲料等の提供を行います。

*東京国体開催にあわせてオール早稲田懇親会(仮称)の開催を企画します。

*「部への補助」、「新人勧誘費」は、これまでと同額の援助を行います。

*広報活動は、クラブニュースの内容充実を図るとともに、電子メール配信参加者「100名」を目標に利用を促進し、経費節減に努めます。

*「特別積立金(60周年記念事業等)」、「特別積立金(部遠征補助等)」は、積み立てを継続します。

【議題6】役員の変任に関する件

役員全員の再任について、満場一致で承認されました。現在の役員は以下のとおりです。

(1) 会長 鈴木靖二(S43/再任) (2) 副会長 山内英雄(S42/再任) 中田正剛(S43/再任) 志田典明(S51/再任)

(3) 幹事長 野中弘一(H01/再任) (4) 会計幹事 蔵山潤哉(H21/再任) (5) 監事 田口薫(S42/再任) 正木隆至(S48/再任)

【議題7】稲門体育会代表委員選任の件

故・酒井延幸先輩(S33)にウェイトリフティング部代表委員をお願いしていましたが、本人のご逝去に伴い欠員となっています。後任について自薦他薦を伺いましたが指名に至らず、選任について役員に一任していただくこと、および選任までの間は役員にて対応することを確認しました。

予餞会を開催

総会に引き続き予餞会が開催されました。今年の卒部生は7名で、充実した4年間を振りかえりながら、各々の思い出を語ってくれました。こういった場でスピーチをするのは、入部時の新入部員歓迎会以来のことだと思います。そのころとは比べものにならないくらいほどの堂々とした姿で、会場にいた全員が成長を実感したことでしょう。

7名の今後のさらなるご活躍を期待します。

卒部生氏名(学部)

三浦宏也(スポーツ科学部) 安達貴弘(スポーツ科学部)
吉野千枝里(社会科学部) 松山洋香(人間科学部)
鈴木龍大(スポーツ科学部) 丸山航平(スポーツ科学部)
土屋千晶(スポーツ科学部)

また、卒部と同時に稲門ウエイトリフティングクラブの会員と
なられました。一同心より歓迎いたします。



吉野先輩小野梓記念賞(スポーツ賞)受賞

吉野千枝里先輩(H25)が、学術、芸術、スポーツの三部門において、それぞれ優れた成績を修め、模範となるべき学生に対して贈られる小野梓記念賞(スポーツ賞)を受賞しました。学生褒賞の中で最も名誉ある賞です。

受賞、おめでとうございます。

【業績】第11・12回全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会 女子58kg級・女子63kg級 優勝(2年連続)
第23・24回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会 女子58kg級・女子63kg級 優勝(2年連続)

昭和42年～46年卒OBの集い

時は 平成25年4月も残すところ3日となった27日
ところは 東京駅八重洲口近くの とあるお店に 昭和
42年卒から昭和46年卒までの16名が集まりました。

42年卒 山内英雄、43年卒 駒田和隆、44年卒
内村正月、藤田和雄、村岡芳彦、45年卒 三浦康男、
岡田正三、坂本知之、森武彦、林康昭、森浩一郎、榎
直樹、上野稔、谷川吉史、46年卒 秋葉裕一、高橋明
のメンバーで 約2時間の宴会を楽しみ そのあとは
学年で分かれて 2次会へ。

山内先輩と榎・谷川の3人は 大阪から そして 森
浩一郎は 青森から上京し 関東在住組みと合流して
の OB会でした。

酒と料理とともに 現役時代の四方山話しや 現況
あるいは 他の先輩・後輩などの話などで 2時間は
あっという間に過ぎてしまいましたが 本当に懐かしい
楽しいひとときを 楽しむことができました。



そもそも 45年卒のメンバーは 幸いにも 9人が健在で、2～3年まえから「元気うちに あいたいな～」という声が聞こえていたので 何とか 実現したいと思い パソコンを活用して メールのやり取りをしながら その機会をうかがっていたところ 46年卒の高橋さんもメールに加わり その高橋さんの発案で どうせなら 先輩達もお誘いしてはということになりまして 今回の実現の運びとなりました。

山内先輩をはじめ マスターズに出場されている方や、大病を経て バーベルとは疎遠になった方も 現役時代 ウエイトリフティングで汗を流した仲間として 今後も 続けていきたいと考えています。

とりあえず 来年は たこ焼きと酒とxxxとで 大阪で、再来年は 青森のりんごの木の下?で と考えています。

我々 団塊の世代 道はそれぞれ違って(ふる～い 歌の歌詞です)ますます元気で 頑張るぞ～!

もしよろしければ 我々の メールのやり取りに ご参加ください。

お名前・卒業年と何か ひとつ、ふたこと添えて *****@*****.*** に送信いただければ幸いです。

谷川吉史(昭和45年卒)

故酒井延幸先輩を偲ぶ

今年1月、酒井延幸先輩(昭和33年卒・前会長)が永眠されました。酒井先輩の永年に渡る部ならびに本会への功労を称え、感謝の意を表したく、生前故人と本会活動以外にも親交のあった、水谷吉朗先輩(S48)、後藤貴徳先輩(S58)のお二人に追悼文を寄せていただきました。故人のご冥福をお祈りし、謹んでご紹介させていただきます。

私と酒井(前OB会)会長との最初の強烈な思い出は、私がまだ足学園第一高校で進路主任をしていた20年ほど前に遡る。自分の高校の生徒が酒井会長が社長をしていた会社に就職させて頂いたのである。当時、会社は不動前駅の近くのかむろ坂を登り切る少し手前を右に入ったところにあり、私の職場は同じ目蒲線(今は目黒線)の洗足駅にあった。会長からいつものさわやかな笑顔でこのお話を頂いたとき、既にバブルがはじけ求人難ということもあって内心「やった」と思う反面、「うちの生徒が先輩の会社で迷惑をおかけしたら」という気持ちもあって逡巡していたところ、一瞬真顔になって「いや、水谷君の学校から欲しいんだよ」と念を押され驚いたことがある。一瞬ではあったがそれまで会長のそのような鋭さを見たことがなかったからだ。たまたま控え目で真面目な生徒を紹介でき(いつもこうとは限らない)ホッと一安心したという次第である。

それから、2度目の思い出は私が監督になった初年度、部の活動費用の割り振りに腐心していたところである。大坂でインカレ2部の大会の時にはいつもお世話になっていた先輩から、

酒井会長！ 雲上より早稲田を眺め、我が部を見ておられますか？ トレーナーズ協会に何か託されておられますか？ 私に何か示唆されていらっしゃるのではないですか？

突然の訃報も暫くは信じる事ができませんでした。「よおー！ 後藤元気やってるか？ 身体の調子は？ 仕事の方はどうだい？」と屈託のない笑顔でご挨拶されながら、今でも我が社にお越しになるのではないかと思います。また、別れ際にも、「おい後藤頑張れよ！ 何か手伝えることがあったら何でも言ってくれよ！」と、必ず心配りをされる方でした。

今から15年ほど前に、「江戸っ子の火消しと北九州のごんぞう(沖仲仕)は気質が似ているなあ」と気にかけて頂けるようになってから、頻繁にお会いするようになりました。そんなご縁もあり、協会の設立に日々奔走して頂いたご恩は一生忘れることができません。

そして、何時も部のこと、OB会のことを誰よりも心配されていました。さらに、協会のことや私の会社のこと、私自身のことにも多くのお心遣いを頂きました。恩返しすることがかなわず本当に残念でなりません。

リレー寄稿 『あの先輩は今』

毎号リレー形式にて近況や現役時代の思い出話などを寄稿していただいています。今回は昭和41年卒・岡田捷太先輩です。

最後の挑戦

昨年3月末、やっと仕事が終わった。7月、孫が5人になった。8月、70歳になった。あとはいい酒を嗜み、その時を迎えるまで淡々と終活するはずだった。ところがである。なまけた報いはてきめんで、体重は60キロを超え、ズボンパンパンになっていた。

「ウエスト76センチのジーパンをはく」を目指し、スポーツクラブで体型修復を開始した。ベクトラルフライとかラットプルダウンとか、舌を噛みそうな機械を使う。マシンジムの20キロシャフトに大盤

を付けたバーベルを見ると、いきなりジャークでもやりたい衝動にかられる。今はただ眺めて「俺は昔100キロ挙げたんだ」と心の中で叫んだりしている。

相手は鉄の塊。殴ろうが蹴飛ばそうが拳がらないものは拳がらない。「なんと孤独なものよ」と粋がって、2キロ半刻みの努力を続けた。思えば〇か×かの分かりやすいスポーツだった。

プールで少し泳ぎ、サウナで締める。平日の午前中ざっと2時間。体重は58キロ。バンタム級のリミットまであと2キロに迫った。目標達成は近い。どうやって祝杯を挙げようか。次はなにに挑戦し

夏合宿の部員負担分を全額寄付して頂いたことがあった。それでいつか酒井会長のいる席で「このような寄付制度も今後はありではないか」と言ったことがある。会長は「水谷君も食えなくなったね」と短くおっしゃっただけだった。その案の是非ではなく「OB会からの補助はOB一人一人の渾身の気持ちが込められているんだよ」と言外に言っているかのようだった。私はOB会費の批判をするつもりは毛頭なかったが、それは鋭く断固としていて酒井先輩のOB会長としての活券が表れていた。

いつも濃紺のブレザーで颯爽とあらわれ、にこやかな笑顔と鋭く断固たる主張。

そんな酒井延幸先輩の安らかなご冥福を心よりお祈り申し上げます。

水谷吉朗(昭和48年卒)

この追悼文を執筆するに当たっても、今頃雲海で、小島先輩と一緒に「俺に遠慮なんかするな。後藤らしい言葉でいいんだからな」と腕組みをされて、語りかけておられるような気がします。

「まあ、どんなに辛いことがあっても、笑って前を向いて歩いていこうじゃないか」とよく言っておられ、最後まで早稲田人としての本当の生き様を拝見させて頂きました。本当にありがとうございました。これまでの感謝の気持ちは、とても一言では言い尽くせません。

「酒井会長！ これでいかがでしょうか」
「おい後藤！ 何だおまえらしくないじゃないか、遠慮したな」「……………」

酒井延幸先輩のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

後藤貴徳(昭和58年卒)

ようか。「はた迷惑だからなにもしないでくれ」と老妻は言うのだが…。

リレー寄稿は中山主将から回ってきた。表から裏へ、ということだろう。新大久保の高校を出て1浪、新宿や中央線沿線の路地裏をホームグラウンドにしていたので、同期や後輩を連れ出してよく飲み歩いた。その際、いろいろな「事件・事故」もあったようだが、遠い昔のことですっかり忘れてしまった。

今度は、やりくりしに苦労した張本主務にバトンを渡そう。

岡田捷太(昭和41年卒)

新入部員紹介

今年度は4名の選手と1名のマネージャー、そして2名のトレーナーが新たに加わり、総勢7名となりました。

将来の活躍が期待される新人たちに4つ質問してみました。

- ①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思ったのか。②試合で注目してほしいところは？③早稲田に来て驚いたことは？④今後の目標は？ さらに主将の永山君から一人ひとりを紹介してもらいました。

105kg級 タケダ ケン 武田 健
スポーツ科学部
宮城県石巻高校
S 115 / C&J 160

Security

- ① 設備が充実していること、スポーツ科学部でレベルの高い学習ができることです。
- ② 逆転ジャーク!!!
- ③ 学生数とキャンパスの広さです。
- ④ インカレ優勝！

永山主将コメント -宮城が生んだ練習に熱い男！怪我を治し、苦手なスナッチを克服して早稲田の重量級を盛り上げてください。

69kg級 フジモト マサヒロ 藤本 雅大
スポーツ科学部
兵庫県明石南高校
S 110 / C&J 125

Security

- ① 知っている先輩が多かったからです。
- ② スナッチが得意なのでスナッチの試技です。
- ③ 人が多いことと、大学のキャンパスが広いことです。
- ④ インカレメンバーに入ります！

永山主将コメント -フィジカルキングと呼ばれている体脂肪6%の彼ですが、腕が弱いので一緒に筋トレして強くなろう！

63kg級 ノモト ナツミ 野本 なつみ
スポーツ科学部
埼玉県草加高校
高校パワーリフティング

Security

- ① 早稲田に入ったらウエイトリフティングやると決めていました！
- ② まだ試合に出たことがないですが、6本しっかり取れるような選手になりたいです。
- ③ 全部です！
- ④ トレーニング室が大きい！ことです。

永山主将コメント -高校時代パワーリフティングで培った力をウエイトリフティングで開放して、絶対インカレに出ましよう。DL160キロの力持ちです。

58kg級 ホソガイ ユキ 細貝 優希
スポーツ科学部
埼玉県埼玉栄高校
S 69 / C&J 91

Security

- ① 基礎栄養学を学び、自分に合う栄養摂取方法を学び競技力向上につなげて行きたかったからです。
- ② SとC&Jの成功率です。
- ③ 高校の時のメニューとかなり違い筋トレメニューが多い事です。
- ④ インカレ優勝を目標に頑張ります。

永山主将コメント -女子で唯一の経験者なので、同期の女子が競技についてわからないことなど率先して教えていく存在になってほしいと思います。

マネージャー タカハシ マドカ 高橋 まどか
人間科学部
フェリス学院高等学校

Security

- ① 入学式の日にとまたま勧誘されたのがきっかけです。先輩方の雰囲気も良くて入ろうと思いました。
- ② マネージャーとして精一杯支援します！
- ③ 選手のレベルが高いことに驚きました！
- ④ 部員のみなさんにとって、部活にとって、少しでもプラスになる事が出来たらいいなと思っています。

永山主将コメント -マネージャーとしてたくさんの仕事をこなしてもらおうので大変だと思いますが、同じ一部員として一緒に頑張っていこう！

トレーナー ハルタ ケンシュウ 春田 賢秀
スポーツ科学部
神奈川県立鶴嶺高校

Security

- ① 成長したかったから。
- ② 知識を付けトレーナーとしてみんなのサポートをしたいです。
- ③ 設備がいい！
- ④ トレーナー日本一！！

永山主将コメント 一念願の男子トレーナーとして入部してくれました。覚えることも多くで大変だろうけどインカレに向け頑張っていくぞ！

トレーナー マルヤマ マサキ 丸山 眞輝
スポーツ科学部
千葉日本大学第一高校

Security

- ① トレーナー活動をするにあたって最適な環境だと感じたから。
- ② トレーナーが試合で注目されないように、普段からきっちり選手の体調管理をしたいと思います。
- ③ オリンピック級のアスリートがたくさん居ること！
- ④ 早くトレーナーとしての仕事を覚え、こなせるようになること。

永山主将コメント 男子二人目のトレーナーとして入部してくれました。これから春田さんと切磋琢磨して、インカレに向けて頑張っていきたいと思います！

5月25日、高田馬場Cafe・Lagoonにて新入部員歓迎会が盛大に開催されました。7名の新入部員は大勢の先輩を前にして緊張した面持ちでしたが、やる気に満ち溢れたスピーチをしてくださいました。新入部員の皆さん、これからの活躍を期待しています！！

競技会成績 全日本学生個人選手権大会

5月、大阪で全日本学生個人選手権大会が開催され、早稲田大学からは9名の選手が出場し、うち4名が表彰台に上がりました。今回はその4名に今後の意気込みを話してもらいました。

永山大地

—今後の試合では最後の勝負所で決められる選手になります。これからの目標はトータル250kgを目指して頑張ります。

生頼佑馬

—スナッチ、トータルでジュニア日本新を更新すること、そして、学生チャンピオンになることです。

細貝優希

—一次の大会では自己ベスト記録を更新出来るよう今回の大会での失敗を活かし、来月の大会に向け練習します。シャフトを触る練習以外もたくさんして筋肉をもっと付けていきたいです。

階級	選手氏名	学部学年	S	順位	J	順位	Total	順位
M62kg級	永山大地	ス4	103	4	132	3	235	3
M69kg級	神谷勇斗	ス3	110	10	140	8	250	9
	生頼佑馬	ス2	115	5	143	3	258	3
M77kg級	伊藤大永	ス3	116	10	146	7	262	9
	梶田大和	ス2	131	2	151	3	282	1
M94kg級	菊池幹広	社3	120	9	155	5	275	8
M105kg級	三浦周平	ス4	108	15	160	8	268	15
	菅野真央	社2	134	2	157	11	291	5
F63	細貝優希	ス1	63	3	80	3	143	3



梶田大和 77kg級優勝！

私の今大会の目標は二つありました。一つ目は、アジアジュニア選手権に出るための記録を残すこと。二つ目は、チャンスがあるとみていたので、優勝すること。この二つの目標を達成するためには、最低でも自己新記録を上げるしかありませんでした。しかし、昨年度末に腰の怪我をしており、決して良い状態ではありませんでした。でも、目標を達成するためにできることを考え精一杯取り組みました。

試合当日は、久しぶりの試合ということもあり、いつも以上に緊張しました。スナッチでは、アップからとても調子が良いと感じていました。結果、三本成功。4キロ自己新記録の131キロでした。そのあとのジャークも調子は良い感じでした。ですが、スナッチの疲れがでてしまい、二本目の試技を失敗してしまいました。もう一度気合いを入れ直し、三本目の試技で151キロを成功することができました。トータル282キロで優勝することができ、本当に嬉しかったです。

今回の大会では、怪我による練習不足という不安な要素もありました。ですが、それ以上に、強くなるためにどうすればいいかを考え、精一杯取り組んだため、目標を達成する自信がありました。今回はそれが結果に表れたので良かったです。

優勝できましたが、実力で劣る部分も多いと感じました。また、今大会に出場していない選手もいるので、今後はどんな選手がいても、完全優勝できるように頑張ります。これからも精一杯取り組んでいきますので、応援よろしくお願ひします。ありがとうございました。

スポーツ科学部2年 梶田大和

競技会成績 全日本学生選抜大会

見附絵莉、松本潮霞が優勝！スナッチで大会新

4月、埼玉県上尾市で第10回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会が開催され、早稲田大学から6名の選手が出場しました。

見事優勝した、W63kg級の見附絵莉選手、W69kg級の松本潮霞選手のコメントをご紹介します。

階級	選手名	学部学年	S	順位	J	順位	TOTAL	順位
M69kg級	生頼佑馬	ス2	120	2	148	3	268	2
M77kg級	伊藤大永	ス3	115	7	153	4	268	7
W53kg級	田窪紗香	社4	56	4	83	4	139	4
W63kg級	見附絵莉	ス3	85 大会新記録	1	101	1	186	1
W63kg級	高岸冨佳	社3	81	2	98	3	179	2
W69kg級	松本潮霞	社4	92 大会新記録	1	111	2	203	1

見附絵莉選手(スポーツ科学部3年)

今回、全日本学生ウエイトリフティング選抜大会に女子63キロ級で出場させて頂いたスポーツ科学部3年の見附絵莉です。結果はスナッチ85キロC&ジャーク101キロ、トータル186キロで優勝でした。

今回の試合の少し前から膝の痛みが酷くなり、思うような練習が出来ず不安な気持ちを抱えたまま迎えた試合となりました。この試合は7月にロシアで行われるユニバーシアードの選考にもなっていて、ずっと目標としていた試合でした。また、階級を58キロ級から63キロ級に上げて初めて本格的に迎えた試合でした。スナッチでは85キロで大会新と自己新記録の更新、優勝をすることが出来たのですが選考では記録が足りず残念ながらユニバーシアードへの切符を手に入れることは出来ませんでした。

そして、この試合を一区切りとし、もしユニバーシアードの選考に外れてしまったら、高校の時から抱えていた膝の痛みを治すことに専念しようと決めていました。今回の試合前の膝の診察で膝蓋腱炎と診断されました。たくさんの方々の意見を聞いたり、相談をして悩んだ結果手術をすることになりました。4月の終わりに手術を行い、今はリハビリに励んでいます。

自分で言うのもなんですが、私はまだまだ伸びると思っています。高校の恩師である小高先生や両親、部長、監督、OB/OGの方々、ほかにも支えてくださった方々に結果としていい成績を出して恩返しをしたいと思っています。だからこそ今回の手術に踏み切れたと思います。秋以降、競技に復帰する時には今より確実にパワーアップした見附絵莉で皆様とお会いしたいと思っています。

応援ありがとうございました。

松本潮霞選手(社会科学部4年)

この度、全日本学生選抜、女子69kg級に出場させて頂いた社会科学部4年の松本潮霞です。階級を上げて臨んだ初めての大会でしたが、スナッチ競技において92kgの大会新記録を更新することができたこと、トータルにおいて優勝することができたこと、7月にロシアで行われるユニバーシアード大会に選ばれたこと、とても嬉しく思います。

昨年、ロンドンオリンピックを終え、今まで日本のウエイト界を引っ張って来てくださった多くのトップ選手が引退されてしまいました。そのため、4年後のリオデジャネイロオリンピックに向け、ナショナルチームも新体制となり、今年の2月より全日本合宿に参加させて頂けるようになりました。合宿は今までとは違った角度からの指摘や、練習方法、環境でとても刺激になりましたが、それと同時に、自分の中でどれが正解でどれが正解ではないのか混乱しました。選手として身体、技術、精神面でも未熟な私ですが、自分がどのような選手になりたいのか、どうすれば強くなれるのかと取捨選択に悩み、今後について考えさせられた時期でした。もちろん、メダリストとの練習で私自身多くの収穫があり、トップに立つ選手には理由があると、間近で感じさせられました。学生選抜大会の直前まで合宿に参加しており、試合前の調整が思うようにできておらず、第一肋骨の疲労骨折も見つかり、正直不安のほうが大きかったです。しかし、大学生最後の年、ユニバーシアード大会の選考がかかっていた試合でもあり、ここでやらなければ必ず悔いが残る、やるしかないという気持ちが不安に勝ち、いつもサポートしてくださっている方々の応援で優勝に繋げることができたと思います。

ユニバーシアード大会では、後期に行われる世界大会の切符を手にするよう頑張ります。学生として最後の1年、早稲田代表として活躍できるよう日々精進してまいりますので、今後とも応援よろしくお願い致します。ありがとうございました。

東京国体・オール早稲田懇親会の開催について

今秋、東京国体の会期中にオール早稲田懇親会の開催を計画しています。OB/OGならびに部員が一堂に会し、親睦・交流を深めたいと思いますので、ふるってご参加ください。詳細は決まり次第メール、Webサイトでお知らせいたします。

日時：10月5日(土)夕刻 場所：JR国立駅周辺を予定
ウエイトリフティング競技期間：10月3日～10月7日
競技会場：東京都国立市 くにたち市民総合体育館

ウエイトリフティング部最前線

学生主体のチーム運営を行っている早稲田大学ウエイトリフティング部。
その中心となりチームを牽引し、そして支える2人の部員にウエイトリフティング部の「今」を話してもらいました。

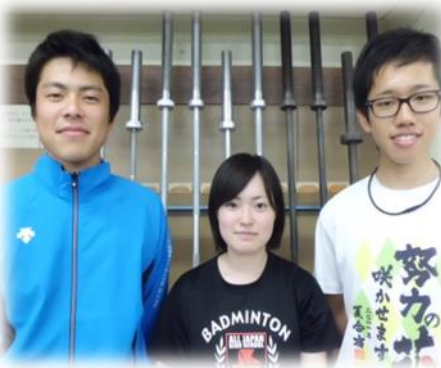
新体制になり半年になりました。

今の時期は前期の総仕上げの試合の全日本個人と東インカレがあります。現在、怪我のため練習できてない者もありますが、年始からしっかりトレーニングを組むことができています。メンバーは少しずつ記録が伸びてきています。しかし、全日本個人では記録更新や試合新記録を出すメンバーもいたものの、安定感が少し欠けている試合が多くなってしまいました。そのため、東インカレまでに種目の底上げに力を入れて安定感

を出していきたいと思います。東インカレはケガ人もいますが、今ベストを尽くせるメンバーで優勝を目指して頑張ります。

東インカレの結果から反省や良い結果をフィードバックし、後期の練習メニューを調整し、一番の目標である全日本対抗戦で最高の状態にすることで全日本対抗戦に挑みます。ご声援よろしくお願ひ致します。

主将 永山大地



昨年のインカレをもちまして2名の学生トレーナーの先輩が卒業し、今年度のスタートは私一人での活動となりましたが、先日新たに2名の新人トレーナーが入部し、現在は3名で活動しています。

日々の活動としては、ウォーミングアップやクーリングダウンの発案・実施、傷害評価から競技復帰までのサポート、体調管理を含むコンディショニング管理が主なものとなっています。また、病院に帯同し選手と医師、医師と監督などのパイプ役を担ったり、選手を対象に講義を行ったり、年に二度メディカルチェックを実施したりもしています。最近では、メディカルチェックの一環として撮ったMRIの体幹の輪切りの画像を処理して筋の量や脂肪の量などを出し、選手にフィードバックしています。「ウエイトリフティングでは筋量

が増えれば競技力も向上する」というデータもあるので、選手は昨年度と比較して筋量がどのくらい増加したかなどを気にしているようです。フィードバックをすることで選手に自分の現状を知ってもらい、意識を変えたりモチベーションを上げたりすることで、競技力の向上を図るのが目的です。活動に関しては次回以降でもう少し詳しく書かせていただこうと思っていますので楽しみにしてください。

私たちは、他大学にはいない学生トレーナーの存在が少しでもチームの力になるようにと日々活動しています。今回のクラブニュースの連載をきっかけに、学生トレーナーの活動を知っていただければと思いますので、ぜひ次回以降もご覧ください。

学生トレーナー 鎌倉典子

伊藤宏之先輩「旭日小綬章」受章

平成24年春の叙勲において、昭和36年卒・伊藤宏之先輩(元 全国水産物卸組合連合会会長／東京魚市場卸協同組合前理事長)が、水産物流通業振興功勞により「旭日小綬章」を受章されました。

一同、心よりお祝ひ申し上げます。

【訃報】

3月、昭和33年卒・小島克夫先輩が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

登録

メール会員未登録の方へ

稲門ウエイトリフティングクラブでは、経費節減とグリーン化を目的に、電子メールを活用した広報活動に取り組んでいます。皆様のご協力により、現在95名の方に配信しております。

メール会員数の更なる拡大に向けて、未登録の皆様にも、ぜひ登録のご協力をお願いいたします。

登録方法：

下記のメールアドレス(幹事長 野中弘一)へメールを送信してください。

E-mail: twc@coffee.ocn.ne.jp

* メールには「年次」と「お名前」を明記して下さい。

オフィシャルTシャツ/ポロシャツ申込受付中！

OB/OG向け部遠征補助等助成金付販売

先輩皆様には、日頃より部の支援ならびに稲門ウェイトリフティングクラブの活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、従前より部の支援の一環として、国際競技会に出場する日本代表選手に対し、渡航資金援助と激励を目的とした遠征補助の贈呈を行っておりますが、本誌でもご案内のとおり全日本学生選抜及び全日本学生個人戦で優秀な成績を収めたことから、ユニバーシアード(7月/ロシア)に1名、日韓中大会(6月/中国)に1名、アジアジュニア選手権(7月/キルギス)に2名の選手派遣が決まり、年度当初の予想を大きく上回る活躍ぶりとなっています。

つきましては、部遠征補助施策の継続に向けて先輩皆様のご支援を賜りたく部と協同で、早稲田大学ウェイトリフティング部のロゴ入りオフィシャルTシャツ/ポロシャツの助成金付販売を実施いたしますので、ふるってご応募くださいますようお願いいたします。



【商品情報】

◇ Tシャツ

- 生地カラー: ホワイト/ブラック/ネイビー
/ロイヤルブルー/オレンジ/レッド/ピンク
- サイズ: S/M/L/O/XO/2XO

◆ ポロシャツ

- 生地カラー: ホワイト/ホワイト空/ブラック
/ネイビー/サックス/ブルー
- サイズ: S/M/L/O/XO/2XO

【販売価格】

◇ Tシャツ: 1枚 3,600円

◆ ポロシャツ: 1枚 4,900円

・いずれも部遠征補助等助成金(1枚につき約1,500円)込みの価格です。

・お申し込みは2枚以上(組み合わせ自由)にてお願いいたします。

・配送をご希望の場合は別途、送料500円にて承ります。

【お申込み方法】

・ご希望商品、カラー/サイズ/数量/受取方法(下記)をご連絡ください。

[申込連絡先] ① 広報係・吉田/小町 E-mail: wasedawlhp@gmail.com

または TEL/FAX: 03-3202-1090(部室)

② 幹事長・野中(H01) E-mail: twc@coffee.ocn.ne.jp

[申込受付期限] 2013年6月30日まで

【お支払い/受取方法】

・以下のいずれかにてお願いいたします。

① 右記口座へ代金+送料をお振込み、入金確認後に商品を発送

② 部室にて代金(現金)と引き換えに商品をお受け取り

・商品の発送/お渡しは、2013年8月上旬以降を予定しています。

【振込先口座】

金融機関名	みずほ銀行
支店名	新宿新都心支店
科目	普通
口座番号	8220922
受取人名	トウモンウェイトリフティングクラブ

なお、同時に部遠征補助等助成金のみの協賛も承ります。皆様のご協力をお願いいたします。

[協賛額] 一口 5,000円 * 5,000円以上1,000円単位でありがたくお受けいたします。

[振込先口座] 同上

※ 部遠征補助等助成金の協賛はOB/OGが対象です。部員のご家族の皆様にはご心配いただきませんようお願いいたします。